

北区障害者地域自立生活支援室より

支援室だより

第74号 (2015年10月発行)

【年6回偶数月月上旬発行】

相談窓口

〒114-0032 東京都北区中十条 1-2-18 障害者福祉センター内

TEL:03-3905-7225 TEL・FAX 兼用:03-3905-7226 E-MAIL:peernet@ma.kitanet.ne.jp

開所日時:月～金 10時～19時 土 10時～17時 *日・祝・年末年始は休み

ろくせいかい

“支援室だより”は印刷されたもののほか、視覚に障害のある方のために、「点字サークル六星会(福祉センタークラス)」のご協力で **点字版** を、「音訳グループやまびこ」のご協力で **音訳版** を作成しています。ご希望の方は支援室までご連絡ください。(TEL・FAX 兼用:03-3905-7226)

今号の内容

- 若葉福祉園、赤羽西福祉作業所、赤羽西福祉工房文化祭のご案内・・・1
- 障害者作品展のご案内・・・2
- ハンドメイド教室<3期>のご案内・・・3
- 成年後見制度講座を開催しました・・・4・5
- 【情報提供】日本点字図書館オープンオフィスのご案内・・・6
- 【情報提供】情報アクセシビリティ・フォーラム2015のご案内・・・7
- 【情報提供】第11回ボッチャ大会参加チーム募集・・・8
- 【情報提供】サイトワールド2015のご案内・・・8

若葉福祉園 赤羽西福祉作業所 赤羽西福祉工房 文化祭のご案内

10月24日(土)10時～15時に赤羽西福祉作業所、赤羽西福祉工房、若葉福祉園(14時まで)、各施設のお祭が開催されます。3ヶ所の施設とも、近い場所に建っていますので足を運んでみてはいかがでしょうか。

アクセス:赤羽駅西口より国際興業バス「日大病院行、池袋東口行、西が丘競技場行・王子駅行」に乗車。
『赤羽自然観察公園』下車すぐ。

わかば祭

～【若葉福祉園】～
自主生産品販売・バザー
など

赤西祭

～【赤羽西福祉作業所】～
作業の紹介、自主生産品
展示・販売、喫茶、バザー、
模擬店等

工房まつり

～【赤羽西福祉工房】～
ステンシル体験、ゲーム、
喫茶、陶芸・ステンシル・
自主生産品販売等

障害者作品展のご案内

12月5、6日に開催される障害者作品展に支援室では「ネイルアート」と「ぼち袋作り体験」を出展します！

ネイルアート体験コーナー

12月5日(土) 10:30～16:00 (受付 10:30～)

参加費無料！



- 【場 所】 北区立障害者福祉センター2階 北区障害者地域自立生活支援室
- 【協 力】 資生堂美容技術専門学校
- 【対 象】 どなたでも。ただし、障害者の方優先。
- 【定 員】 先着 40 名

当日 10:30 より、お好きな時間の予約券を先着順に配布いたします。

なくなり次第、終了とさせていただきますのでご了承ください。

※事前予約は受け付けておりませんので、直接会場までお越しください。



いつもとは少し違った、爪のオシャレをしてみませんか？

参加費無料！

ポチ袋&しおり作りコーナー

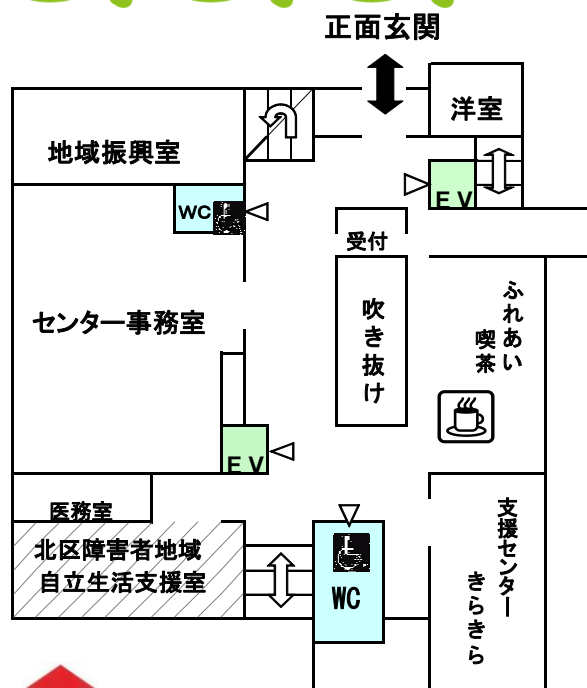
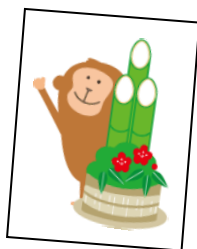
12月6日(日) 10:30～15:00

- 【場 所】 北区立障害者福祉センター 2階
北区障害者地域自立生活支援室

- 【内 容】 使用済みの点字用紙を再利用して、お一人様
3枚までかわいいポチ袋としおりが作れます。

※事前予約は受け付けておりませんので、直接会場までお越しください。

ポチ袋はお年玉袋として使われることが多いですが、小物などのプレゼントのラッピングや、小さなメッセージカードの封筒としても使えます。



北区立障害者福祉センター2階見取り図

北区障害者地域自立生活支援室の場所は、2階、正面玄関を入れて奥のエレベーター右奥になります。

12月7日(月)、支援室は休室いたします。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

ハンドメイド教室 ～2015 3期～



毎回、大好評をいただいているハンドメイド教室を今年度も開催します！

昨年は、風鈴やクリスマスリース、カレンダーなどの工作と、カレーライス、クリームシチューの昼食を作ったりしました。

みんなでワイワイ手作りを楽しみませんか！？

【日 程】

第1回	11月28日（土）	14：00～16：00	簡単な手芸・工作 を行います
第2回	12月12日（土）		
第3回	12月19日（土）	10：00～13：30	昼食を作ります

【場 所】 障害者福祉センター2階 北区障害者地域自立生活支援室

【対 象】 区内在住・在勤・在学の、「愛の手帳」をお持ちの方で一人での参加が可能な方。全3回参加可能な方。

※初参加の方のみ、ご記入いただきたい書類がございますので、保護者の方も一緒にお越しください。所要時間は10分程度です。ご来室が難しい場合は別途ご相談ください。以前に参加されていた方で、書類への記入がまだの方もお手数ですがご来室ください。

【定 員】 6名（定員を超えた場合は抽選）

【参加費】 一回毎に300円（材料費など）

【持ち物】 エプロン・三角巾、ハンドタオル

【申込方法】 11月19日（木）までに、電話（3905－7226）にてお申込みください



成年後見制度講座を開催しました

9月30日（水）、権利擁護センターぱあとなあ東京の小川久美子先生をお迎えして、成年後見制度講座「障害者の成年後見制度」を開催しました。小川先生は社会福祉士として、身上監護に力を入れた後見活動をなさっています。今回の講座では、「成年後見人等の実務とは…」と題して、成年後見制度の概要や、後見人の職務について丁寧にお話いただきました。福祉関係の方や、障害がある方のご家族など、たくさんの方にお申込いただきました。会場の障害者福祉センター第一ホールでは皆様先生のお話に熱心に耳を傾けていました。



成年後見制度講座「障害者の成年後見」

○成年後見制度のポイント

●平成 20 年 4 月より成年後見制度がスタート

成年後見制度では、旧制度の「本人の保護」に加えて、三つの理念「自己決定の尊重」「ノーマライゼーション」「残存能力の活用」を取り入れています。「自己決定の尊重」と「本人の保護」を調和させることで、本人の判断能力に応じた柔軟で弾力的な制度となっています。

●成年後見制度の特色

判断能力の低下により、自分自身では、自分の最善の利益を実現できない場合に、本人の立場に立って、本人の最善の利益を法的に実行できる人（補助人、保佐人、後見人）を「人として」つける制度。



- ☆人権・法的権利としての苦情申し立てやサービス利用等についての平等性を確保
- ☆本人の個人資産を本人のために活用

○成年後見人の実務

●成年後見人の職務

後見人の職務は、被後見人の身上に配慮（身上配慮義務）した上での身上監護・財産管理です。

⇒被後見人はどのような暮らしを希望しているのか、どういった生活状況が適しているのかを配慮し、その上で医療、住居、福祉施設利用、介護サービス、社会保障給付利用等の必要な手続きを行うと共に、被後見人の財産を管理します。

●成年後見人にはできないこと

- 結婚離婚等
- 身元引受人、保証人になること
- 手術等（医療的侵襲行為）への同意
- 死後の事務

⇒身寄りのない被後見人の場合、これらにどう対処するのか、社会の狭間となっています。

●任務外のこと

実際の介護(事実行為)

⇒成年後見人が、被後見人の実際の介護等を行うことはありません。

被後見人にとって、どのようなサービスを利用することが好ましいのかを考え、サービス利用のための手続きや、そのための財産管理をするのが後見人の仕事です。

●成年後見人の立ち位置

成年後見人と、専門機関やサービス提供事業者といった「支援者」とでは立場の相違があります。

⇒成年後見人は、「支援者」と捉えられがちですが、あくまでも本人の最善の利益を実現していく立場です。本人の様子を一番近くで支えている人からの情報を基にしながら、その人らしい生活を実現します。専門機関、サービス提供機関、行政、家族親族等が提案する支援に対して、その支援が被後見人の意思、状況にあったものなのかを配慮、検討することも後見人の役割です。

●成年後見人が「その人らしさ」を支援するために

判断能力が衰えてしまった被後見人がどんな暮らしを望んでいたのかを判断することはとても困難です。

⇒「生き方・暮らし方ノート」の作成が大切です。「自分はこうしたい」、「こうして生きていきたい」といった、ご本人、ご家族の想いを綴り、誰かに伝え、残しておくようにしましょう。被後見人ご本人やご両親の残した情報は、成年後見人にとって宝物となります。

○参加者の感想

講座終了後は、参加者から多くの感想をいただき、支援室職員も、このテーマに対する皆様の関心の高さを実感しました。ここでは、ご意見・ご感想の一部を紹介します。

- ・成年後見制度が任意後見制度(事前)と法定後見制度(事後)にわかれていることを知って参考になった
- ・まだまだ先のことだと考えていて、制度についてあまり理解していなかったため、勉強になった
- ・成年後見の現状をわかりやすく知ることができた
- ・具体的な事例があってとても参考になった
- ・「生き方・暮らし方ノート」を作成したいと思う



講師の小川久美子先生

成年後見制度の利用を検討するにあたってどういった準備をしておくといいのか、後見人がついたらどのような支援をしてくれるのか、後見人をお願いできないことなど、実際に後見人として活動されている小川先生の経験も含めて説明していただき、初めて学ぶ方にもわかりやすい講座となりました。

また、先生のお話にあった「生き方・暮らし方ノート」作成の一助として、支援室では「支援者へのボタン」を発行しております。障害のある方のご両親を対象とした書き込み式の記録帳です。講座終了時にも希望者に配布いたしました。随時無料配布しておりますので、ご興味のある方は支援室までお気軽にご連絡ください。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



日本点字図書館オープンオフィスのご案内

日本点字図書館にて、施設公開イベント「オープンオフィス」が開催されます。図書館業務の紹介の他、小中学生でも楽しめる、ミニ点字教室や盲導犬体験コーナーなど、体験型、参加型の催し物も実施されます。無料カフェコーナー、パン販売、ミニミニ北海道物産展などおいしいものも盛りだくさんです。

日時 2015年11月14日(土) 10:00～16:30 ・ 15日(日)10:00～16:00 ※入場無料

会場 日本点字図書館(本館・別館)

◇イベント

14日(土)

10:00 ～ 11:30 式典

13:30 ～ 14:30 出久根達郎氏講演

「指と耳の読書 ― 本間一夫先生をめぐって ―」

15:20 ～ 16:00 三好明子氏・三好俊行氏(ピアノ連弾)ミニコンサート

「スーパー・ピアノ・デュオ ～クラシックからポップスまで～」

今年も行います！！
オープンオフィス
2015.11.14(土)10時～16時半
11.15(日)10時～16時

【本間一夫生誕百年記念特別展「本間一夫と日本盲人図書館」特別セミナー】

15:00 ～ 西脇智子氏(実践女子大学短期大学部准教授)

「64年ぶりに帰館した点字図書」

15日(日)

10:30 ～ 11:00 ラジオ日本「小鳩の愛～eye～」公開録音

ゲスト 堀内恒夫氏(参議院議員・元読売巨人軍)

10:45 ～ 12:00 福島智氏(東京大学先端科学技術研究センター教授)講演

「ぼくの命は言葉とともにある」※手話通訳あり

13:00 ～ 15:00 トークイベント「本間一夫、図書館への思いを探る～日点の源流に触れる～」

司会:長岡英司氏(筑波技術大学教授)

両日

共催イベント 企画展 本間一夫生誕百年記念特別展「本間一夫と日本盲人図書館」

ミニミニ 北海道物産展 ※数量限定・売り切れ次第終了

◇各種催し物

点字図書や録音図書に触れる企画、ユニバーサル商品に触ってみる企画、点字体験、盲導犬体験、パソコン・タブレットでの読書体験、無料カフェなど、様々な催し物が行われます。

主催・お問合せ

社会福祉法人 日本点字図書館 総務部総務課

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場 1-23-4 電話:03-3209-0241 メール:nitten@nittento.or.jp

日本点字図書館オープンオフィスホームページ http://www.nittento.or.jp/news/open_office2015.html

情報アクセシビリティ・フォーラム 2015 のご案内

一般財団法人全日本ろうあ連盟の主催により、「情報アクセシビリティ・フォーラム 2015」が秋葉原にて開催されます。市民、当事者、行政・事業者・学術関係者を対象として、聴覚障害者のアクセシビリティの理解、普及、向上について幅広く考えます。

会期 2015 年 12 月 12 日(土)・13 日(日) ※参加費無料

会場 秋葉原 UDX ・ 秋葉原ダイビル 2 階 秋葉原コンベンションホール (千代田区)

学ぶフロア

みんなで考えよう情報アクセシビリティ 会場:秋葉原コンベンションホール

12 日(土)

- 10:00 ~ 12:00 シンポジウム 1 パネルディスカッション 「情報アクセシビリティへの挑戦」
13:00 ~ 14:30 シンポジウム 2 基調報告・パネルディスカッション 「私たち当事者団体のチャレンジ」
15:30 ~ 17:00 シンポジウム 3 記念講演・パネルディスカッション 「障害者スポーツのチャレンジ」

13 日(日)

- 10:00 ~ 11:30 シンポジウム 4 記念講演・パネルディスカッション 「企業のチャレンジ」
12:30 ~ 14:30 シンポジウム 5 記念対談・パネルディスカッション 「自治体のチャレンジ」
15:30 ~ 17:00 シンポジウム 6 記念講演・パネルディスカッション 「国のチャレンジ」

みんなでつくろう情報アクセシビリティ 会場:UDX4 階 ギャラリー

12 日(土)

- 10:00 ~ 12:00 式典、特別講演
13:30 ~ 15:00 ワークショップ 1 「働きやすい職場づくり」
15:30 ~ 17:00 ワークショップ 2 「手で創るアート(1)」

13 日(日)

- 10:00 ~ 11:30 ワークショップ 3 「誰にでもすぐ電話できる環境づくり」
12:30 ~ 14:00 ワークショップ 4 「手で創るアート(2)」
14:30 ~ 16:00 ワークショップ 5 「みんなで関わる大学の授業づくり」

ワークショップは事前申込が必要です。以下から申込ができます。

申込専用ページ

<http://www.jfd.or.jp/iaf/ws-reservation>

感じるフロア 会場:UDX2 階 アキバ・スクエア 12 日(土)10:00~18:00 13 日(日)10:00~15:00

情報通信・放送・映像展示ゾーン

聴覚障害者の生活向上に寄与する最新技術の紹介、情報アクセシビリティにかかわる機器・サービスの紹介

体験・啓発ゾーン

聴覚障害者はなぜ、情報アクセシビリティが必要なのか?を理解できる体験や解説展示、等

関連展示・販売ゾーン

聴覚障害者・手話関連書籍コーナー

主催・お問合せ

一般財団法人全日本ろうあ連盟 情報アクセシビリティ・フォーラム準備室

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 130 SKビル 8F 電話:03-3268-8847 FAX:03-3267-3445

情報アクセシビリティ・フォーラム 2015 ホームページ <http://www.jfd.or.jp/iaf/>

第 11 回ボッチャ大会参加チーム募集

2016 年 1 月に北区にて開催される初心者対象ボッチャ大会の参加者を募集しています。ボッチャを体験してみたい、ボッチャを始めたばかり、ボッチャを通じて交流したい…そんな方のためのボッチャ大会です。

◇開催日時：2016 年 1 月 17 日(日) 9:00～(予定)

◇開催場所：東京都障害者総合スポーツセンター 体育館 (東京都北区十条台 1-2-2)

◇参加費：1 チーム 3,000 円(1 チーム 3 名・1 名 1,000 円×3 名)

◇申込締切：2015 年 10 月 30 日(金)

◇お申込：以下のアドレスから開催要項・申込用紙がダウンロードできます。

http://www.wahho.jp/event/2016/boccia_20160117.pdf

◇お問合せ：第 11 回ボッチャ大会実行委員会事務局 近藤清子

〒120-0006 東京都足立区谷中 2-16-11 メール boccia@fm-c.net

◇主催：第 11 回ボッチャ大会実行委員会



サイトワールド 2015 のご案内

視覚障害者向け総合イベント、サイトワールド 2015 が開催されます。最先端の技術・機器、および日常用品等の展示会、講演会、学会、フォーラム、体験会等が行われます。

会期 2015 年 11 月 1 日(日)・2 日(月)・3 日(火・祝) ※入場無料

時間 10:00 ～ 17:00(最終日は 16:00 まで)

会場 すみだ産業会館サンライズホール JR 総武線・地下鉄半蔵門線 錦糸町駅前 丸井錦糸町店 8・9 階
(東京都墨田区江東橋 3-9-10 墨田区丸井共同開発ビル)

主催・お問合せ

サイトワールド実行委員会 事務局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-18-2 社会福祉法人 日本盲人福祉委員会 内

電話:03-5291-7885 FAX:03-5291-7886

サイトワールドホームページ <http://www.sight-world.com/index.htm>

編集後記

北区障害者地域自立生活支援室から“支援室だより”第 74 号をお送りしました。今年も国際福祉機器展が開催されました。介護ロボットなど、毎年目を見張る技術の進歩がありますね。このまま行くと介護ロボットが施設に当たり前にいる、そんな風景が日常になる日も来るのかもしれませんが。

* * * * *

急に冷えて、秋本番ですね。秋は梨やぶどう、柿など大好きな果物がたくさんお店に並んでいて、どれを買おうか迷ってしまいます。果物はいろんな栄養素が入っていて体にとっても良いんです。特に柿はカリウムを多く含むため、体内の塩分を体外に出す働きがあります。柿のビタミン C にはがん予防効果、老化防止効果、二日酔いにも効果があり、疲労を回復してくれるそうです。旬の果物を食べて秋を楽しみたいですね。

㊦

発行: 北区障害者地域自立生活支援室 TEL&FAX:03-3905-7226